

第3回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 会議録

【日 時】令和7年11月15日（土）10:30～12:00

【場 所】益富交流館 大会議室

【出席者】委員14名、事務局4名

【傍聴者】2名

【議 事】 1 前回会議録の承認

2 協議事項

（1）五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等について（その2）

3 今後の協議会日程（予定）

【内 容】（要点）

1 前回会議録の承認について

事務局 （資料に基づき説明）

会長 承諾ということで良いか。

各委員 （異議なし）

2 （1）五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等について（その2）

グループワーク

事務局 （資料に基づき説明）

本日は、まずは前回と同様にグループワークにより意見を出し、意見をまとめたい。その後、グループワークの結果を踏まえて協議を行い、テーマを6～8つ程度に絞っていく。

委員 テーマを絞った後、今後第1回ワークショップを予定しているが、テーマを大きいものにするのか、細かいものを想定しているのかなどで、まとめ方も変わってくる。どのようにすると取り組みやすいと教育委員会は考えているか。

事務局 細かすぎるものより、前回のグループワークをまとめたキーワードレベルの広めのテーマで、幅広な視点で話し合いができるようにと思っている。

委員 学校再編を決めていくためのテーマの具体的な案を市は持っているか。

事務局 具体的には今回のグループワークを元に決めていきたい。順番などの構成については、いただいた案を元に市と会長等で最終調整する。

委員 前回のグループワークで多く出たテーマなどを採用するようなことが考えられる。

委員 学校再編に関するワークショップだと思うが、そうではないテーマやキーワードもある。6回話して決めていくことを明確にして、取り組むようにする必要がある。今回五ヶ丘小学校PTAでとったアンケートの声でも、五ヶ丘まちづくりワークショップが学校再編とあまり関係がなかったというものもあった。

事務局 今回テーマを絞り込んでいく中でも、主に教育環境に焦点を当ててもらいたいと考えている。

委員 例えば跡地活用に関してはテーマに取り上げることはどうなのか。学校再編に関するものと捉えて良いか。教育環境に焦点を当てるとした場合に、切り離して考えるべきかどうか確認したい。

事務局 皆さん興味があり重要な論点だと思うが、学校再編が決まった後に、改めて住民と話し合っていく内容だと考えている。

委員 切り離して考えることが難しい

会長 それでは、2グループに分かれて模造紙に意見をグループ化しながら貼つていく。

(グループワーク)

2 (1) 五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等について（その2） グループワーク後の協議

事務局 A グループでは、新しい学校の魅力、小中一貫教育など「こんな学校に通わせたい」という方向性の意見が最も多かった。また、「不安・心配」とそれに関係する「安全・安心」という面での意見も多く見られた。「地域と学校とのつながり」という意見も多くかった。

委員 B グループでは、「今の学校の良いところ・悪いところ」というものが多くあった。あとは、「ほかの学校について」や「学校やまちの魅力」「不安や心配」「再編すると（再編の効果等）」「地域とのかかわり」などの意見も多かった。

事務局 グループでそのほかに出た話として、五ヶ丘まちづくりワークショップとの違いやすみわけが分かりづらく、分かるように説明が必要であるという話が出た。また、跡地活用については、再編を決定する際には必要ではないのでは、という意見と、一方で跡地活用が学校再編の納得材料にもなり得るのでは、という考え方もあった。

事務局 跡地活用に関連して、こちらでは、大事だが教育と子どもに焦点を当て、学校再編が決まった後に議論する内容ではないか、という視点だった。

委員 不安や心配については、解決すれば魅力になっていくのではないか、という前向きな話も出た。

会長 ここまでまとめの状況について意見はどうか。

委員 ワークショップをただやって終わってしまい、どうなるか分からず市で一方的に決定されてしまうことは良くない。ワークショップの意見が必ず採用されるとはならずとも、ある程度どのように市が生かすのかを示すことが、ワークショップに参加してもらう住民の満足や納得につながる。

事務局 ワークショップの結果やまとめが参加者や住民の見える形になり共有されることが重要なため、そのように検討したい。また、ワークショップでの意見を市が活用していく考え方があることを事前に説明しておくことも、同様に重要だと考えている。

委員 ワークショップにあたり、過去の歴史や経緯も知っておくことが重要ではないか。

事務局 ワークショップの際の事前説明において、現状把握などをどのように行うかに

についても考慮し、状況をまとめ、情報共有しながら進められるようにしたい。

委員 来年度のメンバー交代も踏まえ、次回の会議などは候補者に参加してもらうことも良いかもしない。

事務局 第1回のワークショップで参加のお声掛けをいただくなどもお願ひできれば。

3 今後の協議会日程（予定）

事務局 (資料に基づき説明)

事務局 本日の絞り込みを基に、市と会長・副会長でワークショップについての細部を調整させていただき、1月18日（日）の第4回協議会の前に、年内には委員の皆さんに案をお送りするため、意見をいただきたい。

第1回ワークショップの候補日は3月1日（日）午後1時からと、3月7日（土）午後4時からの2案で検討している。皆さんの大きな異論がなければ、この案で進めていき、決定でき次第またお知らせする。1日は自治区の会議等も多いとの声がすでにあるため、7日（土）午後4時からを最有力としたい。参加者の募集も事前にかわら版などを通じて行う予定である。また、託児などの手配もしていく。

委員 2月上旬にはワークショップの周知をすべきだと思う。

委員 自分にも協議会の傍聴を希望する声が届く。かわら版に協議会の予定はあるが、時間まで記載されていなかったため、記載してもらうと良いと思う。

事務局 次号から協議会の時間も記載する。

委員 協議会委員はワークショップの運営側か、参加者か。

事務局 運営側兼参加者と考えている。また、別でファシリテーターなども入った運営にしたいと考えている。

（以上 閉会）